

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年3月26日～4月1日)

平成 27 年(2015 年)4 月 3 日

H E A D L I N E S

政治

軍検察, 政府専用機墜落事故の捜査状況につき発表
 コパチ首相, 政権運営6カ月を総括する記者会見
 コモロフスキ大統領, チュニジアにおける「反テロ大行進」に参加
 コモロフスキ大統領, ニーニスト・フィンランド大統領と会談
 ワイマール・トライアングル(仏・独・ポーランド)3カ国の国防相会議
 ポーランドによるウクライナ軍教育への支援
 シェモニャク・ポーランド副首相兼国防相, ヘニス・オランダ国防相と会談

経済

経済省はEU域外への輸出を強化
 12年物国債の利回りが1.0%に
 2月の輸出は5.3%の増加
 3月のPMIは54.8ポイント
 モバイル通信利用者が拡大
 ソラリス社がドイツの都市ヘトラム車両を納入
 アズティ社, プロピレン工場を新設
 大気質の向上に向けた環境省の取組
 炭鉱労働組合はEUのエネルギー同盟に反対
 JSW社の定款が改訂

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

軍検察、政府専用機墜落事故の捜査状況につき発表【3月27日】

3月27日、軍検察が2010年4月の政府専用機墜落事故の原因に関する捜査状況につき記者会見を行い、本件墜落事故の主な原因が政府専用機パイロットによる不適切な対応であること、(スモレンスク空港の)ロシアの航空管制官2名にも事故の過失責任の疑いがあり、軍検察がロシア当局に2名への事情聴取の協力要請を行ったこと等を発表した。

コパチ首相、政権運営6カ月を総括する記者会見【3月31日】

3月31日、コパチ首相は政権運営6カ月を総括する記者会見を実施し、この6カ月間にて施政方針演説で述べた公約の50%以上を実現した点を強調した。同首相は、具体的成果として、防衛予算のGDP 2%水準までの増額法案の閣議決定、対露制裁に対する西側諸国の結束維持、親家族政策及び社会保障政策の具体化、ポーランド企業支援、雇用確保等に言及した。

外交・安全保障

コモロフスキ大統領、チュニジアにおける「反テロ大行進」に参加【3月29日】

3月29日、コモロフスキ大統領は、18日のバルド一博物館におけるテロ事件を受けてチュニス市内で実施された「反テロ大行進」に参加した。同大統領は、本日の行進への自身の参加は、ポーランドがテロの脅威を取り除くための活動に参加すると共に代償を払うことを示すものである旨述べた。

コモロフスキ大統領、ニーニスト・フィンランド大統領と会談【3月31日】

3月31日、コモロフスキ大統領はワルシャワを訪問中のニーニスト・フィンランド大統領と会談を行い、安全保障政策、NATO・フィンランド関係、ロシア・ウクライナ紛争を受けての地域の安全保障情勢の悪化等につき意見交換した。両大統領は、共同声明を発売し、経済、エネルギー、安全保障、東方政策、農業及び文化の分野において二国間協力を深化させる意思を示した。

ワイマール・トライアングル3カ国の国防相会議開催【3月31日】

3月30日、ドイツのポツダムに於いて、ル・ドリアン仏国防相、フォン・デア・ライエン独連邦国防相及びシェモニャク・ポーランド国防相は、欧州の防衛に関

する協議をした他、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表宛ての共通安全保障・防衛政策(CSDP)の改革案に関する書簡に共同で署名をした。ワイマール・トライアングル3カ国の国防相による会合開催は、2006年以来。

ポーランドによるウクライナ軍教育への支援【1日】

ポーランドは、NATOのプログラムであるウクライナ軍教育改革、「防衛教育向上計画」(Defence Education Enhancement Program、DEEP)に協力し、本年6月、9月及び10月にポーランドにおいて、ウクライナ軍教官を対象に3種類の研修コースが実施される。ウクライナ側の発表によると、約50人が参加する。

シェモニャク・ポーランド副首相兼国防相、ヘニス・オランダ国防相と会談【1日】

1日、シェモニャク・ポーランド副首相兼国防相は、ワルシャワ訪問中のヘニス・オランダ国防相と会談を行い、NATOウェールズ首脳会合にて決定された即応性行動計画(RAP)の実現、ウクライナ情勢、中東及び「イスラム国」との戦い、先日開催されたワイマール・トライアングル3カ国の国防相による会合に関する協議を行った。

経 済

経済・財政政策

経済省はEU域外への輸出を強化【27日】

ピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、記者との懇談会において、2014年のポーランド貿易に関し、ロシアによる一部製品の輸入制裁にもかかわらず上昇傾向となっており、特に中東・アフリカでの伸びを指摘した。一方、ロシアへの輸出は減少しており、2015年はより減少すると予想している。同副首相は、

今後、EU域外との経済関係を強化するため、5~7年かけ輸出振興のために10億ズロチを投じると述べている。経済省では、新たに新市場に向け Go India, Go Arabia といった戦略プログラムを立ち上げることにしている。

12年物国債の利回りが1.0%に【30日】

財務省はユーロ建ての12年物国債を一年ぶりに発行し、利回りを史上最も低い1.0%とした。現在、大きな通貨準備があるものの、1.0%の利回り適用

には、財務省内部でも議論があったと見られ、市場の選択、良質の投資家及び国債の価値を有利に働かせることに着目したとしている。

マクロ経済動向・統計

2月の輸出は5.3%の増加【31日】

2月のユーロ建て輸出は、前年同月比で5.3%増、前月比で3.1%減となる131億ユーロとなった。ズロチ建てでは、前年同月比4.6%増、前月比6.1%減の542億ズロチ。2月の輸出が前月比で減少するのは、日数の少なさから自然な現象と考えられる。また、2015年後半は、ユーロ圏経済の成長及び東欧情勢の回復から、ユーロ建てで前年同期比9.0%増となる1,719億ユーロ、ズロチ建てで前年同期比6.9%増の7,055億ズロチとの予想が出てい

る。

3月のPMIは54.8ポイント【1日】

2月の購買担当者景況指数(PMI)は、前月の55.1ポイントより低下した54.8となった。鉱工業生産及び新規受注の増加の割合が今年に入り減少していることが要因として上げられているが、他方、最近の米ドル高ズロチ安による輸出需要の増加や継続的な雇用の増大等、今後景況感が上向き要因も指摘されている。

ポーランド産業動向

モバイル通信利用者が拡大【26日】

報道によると、昨年、ポーランドにおけるモバイルインターネット通信のユーザー数は前年よりも100万人以上増加し590万人に達した。有線インターネットの申込者数は730万人であった。今後モバイル通信各社による投資により、モバイルインターネット通信のユーザーの数が近い将来有線のユーザー数を上回るだろうと予測している。

納入する契約を結んだ。今年まず5両納入し、2020年までに残りを納入する予定という。今回の契約に関し、同社は単に金額だけではなく、同社の技術力もその要因であると述べている。

ソリス社がドイツの都市ヘトラム車両を納入【27日】

ポーランドのバス・トラム車両メーカーであるソリス社は、ドイツ・ライプツィヒ市に同社製トラム41両を

アゾティ社、プロピレン工場を新設【30日】

アゾティ社は、同社最大規模となる17億ズロチを投じたプロピレン工場の建設を進める。2018年末の稼働を目指す。新工場は Police(北西部の都市)に建設され、年間40万トンの生産能力を有するという。また、同社は工場稼働に必要な関連施設の整備もあわせて行うとしている。

エネルギー・環境

大気質の向上に向けた環境省の取組【26日】

報道によれば、ポーランドにおけるばい塵の95%は家庭での暖房と自動車由来であるという。これらに対し、環境省は大気汚染への対策と大気質の向上に向け、暖房設備の近代化、再生可能エネルギー導入や公共交通手段の近代化等に向けた支援等の取組を進めている。同省はこのほかにもばい塵排出量の定期的な観測や一般家庭におけるゴミの焼却等に関する監視員の導入も検討しているという。さらに、地方に対し大気汚染に対する権限の強化や環境に優しい交通機関の導入を促す法制度の整備も検討しているという。

が石炭をエネルギー源から排除することを前提に設立されるべきではないとしているほか、3月の欧州理事会の合意がポーランド経済に負の影響を与えることや政府は国内資源によるエネルギー供給を保証すべきであると主張している。コパチ首相は欧州理事会後、「脱炭素化」は二酸化炭素削減という趣旨であり、ポーランドのエネルギーは石炭に依存していると述べている。

炭鉱労働組合はEUのエネルギー同盟に反対【30日】

ポーランドの炭鉱労働者組合であるZZGと電力労働組合のZZZEは、エネルギー同盟の柱に脱炭素化が盛り込まれた事に反対し、これに賛同する政府へ説明を求めた。組合側は、エネルギー同盟

JSW社の定款が改訂【1日】

国有企業である炭鉱企業 Jastrzębska Spółka Węglowa SA 社(JSW社)の臨時株主総会が開催され、国有企業の政府内での監督権が経済省から国有財産省に移管されたことを受け、監査委員会の政府派遣メンバーが経済省から国有財産省出身者へ交替することが承認された。また、同社の定款の改訂も承認され、監査委員会へと新たな権限の付与と内部統制に関する規定が新たに追加された。今回の株主総会后、JSW社株価は最大5%

下落したが、専門家は今回の決定ではなく、同社

の業績に対する反応とみている。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf> にて、平成27年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】ロジカル・エモーション—日本現代美術展【～4月26日(日)】

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催中です。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されています。

開催場所: クラクフ, クラクフ現代美術館, ul. Lipowa 4

詳細: <http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【～5月18日(月)】

クラクフ市にて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】欧州空手選手権大会【4月17～18日(金～土)】

ワルシャワにてピエラニ極真空手クラブ主催による欧州空手選手権大会が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, Torwar, ul. Lazienkowska 6A

詳細: <http://eurokaratechamps.eu/en/>

【予定】ポーランド相撲選手権大会【4月19日(日)】

ワルシャワにてポーランド相撲連盟主催によるポーランド相撲選手権大会が開催されます。ポーランド全国から120名が参加します。

開催場所: ワルシャワ, Falenica スポーツセンター, ul. Poezji 5

詳細: www.sumo.org.pl

【予定】2015 IIHF アイスホッケー世界選手権ディビジョンIグループ 【4月19～25日(日～土)】

クラクフ市の TAURON アリーナにてアイスホッケー世界選手権ディビジョンIグループが開催されます。日本、ポーランド、イタリア、ハンガリー、ウクライナ、カザフスタンのチームが参加します。試合のスケジュールについては、ホームページ (<http://pzh.tv/terminarz/>)をご覧ください。4月20日(月)20時からは日本対ポーランド戦が行われます。

開催場所: クラクフ, Tauron Arena, ul. Lema 7

チケット購入サイト:

<https://www.ebilet.pl/tekst.php?id=14611>

グループチケット等の割引のお問い合わせ:

hokej@ebilet.pl

agnieszka.wisniewska@ebilet.pl

【予定】第17回日本デー【4月21～23日(火～木)】

ワルシャワにてワルシャワ経済大学日本経済文化研究会主催による第17回日本デーが開催されます。日本経済、日本ポーランド経済関係に関する講演の他、日本文化に関するワークショップが予定されています。

開催場所: ワルシャワ, Szkoła Główna Handlowa, ul. Niepodległości 162

詳細: <http://www.dnijaponii.wordpress.com>

【予定】日本の子供の日【4月26日(日)】

ワルシャワにて、チビワルファンデーション主催による「日本の子供の日」が開催されます。鯉のぼりやかぶと作りなどで日本の風習を学ぶことができます。

開催場所: ワルシャワ, Pardon To Tu, Plac Grzybowski 12/16

詳細: <https://www.facebook.com/fundacjachibiwaru?ref=ts&fref=ts>

読者からの投稿

【予定】パフォーマンス「ヒロシマ・サロン」の開催【4月12日 19:30～】

ワルシャワの Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera にて、ドイツ在住の俳優、原サチコさんが出演するパフォーマンス「ヒロシマ・サロン」が開催されます。

広島への原爆投下と福島での原発事故の二つの悲惨な出来事をテーマとしています。

開催場所: Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera

ul. Jana Zamoyskiego 20, 03-801 Warszawa

詳細:

http://www.powszechny.com/spektakle/hiroshima-salon,s664.html?ref_page=controller,index,action,repertuar

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。